



となん

【学校教育目標】

- 〔知〕自ら学ぶ意欲を持つ生徒
- 〔徳〕豊かな心を持つ生徒
- 〔体〕健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの登録商標です(下地中学校HPへ)

令和7年度 宮古地区小・中学校

読書感想文・感想画コンクール

読書感想文で2名が入賞しました！



先月初めにみだしの「令和7年度 宮古地区小・中学校読書感想文・感想画コンクール」の審査会があり、本校からは読書感想文で2名の入賞者がありました。

【課題図書の一部】

☆優秀賞：奥平 絢音さん（2年生）

「希望の水はどこまでも」

☆佳作：羽地 愛美さん（2年生）

「小さな行動で世界は変わる」

次に、二人の読んだ本の紹介と、入賞した読書感想文を紹介していきます。

「スラムに水は流れない」

ヴァルシャ・バジャージ著

村上利佳 訳 あすなろ書房



スラムに水は流れない

インドのスラムは水の供給が極端に悪かった。少女ミンニは水関連の事件や母が倒れるなどの試練の中、健気に生きぬいていく。

【みどころ】

スラムはムンバイの人口の40%が住んでいるが水は5%しか供給されていなかった。兄が身をかくし残された少女ミンニは、母が倒れるなど次々とふりかかる試練にまげず知恵を働かせ難題をのりこえていく。

希望の水はどこまでも

下地中学校2年 奥平 絢音

ひねれば出る。私の指先が蛇口を少し回せば、冷たい水もお湯も、いつでも、好きなだけ。これほど豊かで、これほど「当たり前」な光景が、世界の誰かにとっては、祈るような夢でしかないことを、私はこの1冊を手取るまで知らなかった。バケツを両手でしっかりと持ち、スラムの地面に裸足で立つ少女のまなざし。その瞳に映る世界が知りたくて、私はページをめくった。

この本の主人公ミンニは、インドのムンバイのスラムに家族4人で暮らしている。ミンニは詩を作るのが好きで、家族思いな、頭の良い女の子だ。しかし、彼女の暮らすスラムでは、ムンバイの人口の4割が住んでいるのに、水は市全体の五パーセントほどしか届かないという。生きていくために欠かせない水が、そこでは特別な「奪い合うもの」になっている。そんな中、兄のサンジャイが「水マフィア」

という不正行為を目撃してしまい、命を狙われる。兄は家を離れ、母も水が原因で病気になってしまう。ミンニは母の仕事を引き継ぎ、厳しい現実立ち向かっていく。

私が最も印象に残ったのは、水を手に入れるための苦労だ。ミンニの家には水道がなく、朝は2時間、夕方は1時間、水をくみに行かなければならない。水をくむためにたくさんの人が並ぶため、順番をめぐるけんかが起こったり、けがをしたりすることもある。自分の番が来るまで、ずっと立ちっぱなしで待たなければならない。

※63号②に続く……

令和7年度 宮古地区小・中学校

読書感想文・感想画コンクール

読書感想文で2名が入賞しました！



「読書感想文」の続きです。

ミンニは母の代わりに水をくみに行くが、朝は学校に遅れてしまうこともある。私は「それなら学校に遅れても仕方ない」と思ってしまったかもしれない。しかし、ミンニはそうではなかった。どんなに大変でも、勉強がしたいという気持ちを捨てずに学校へ通い続ける。困難な状況でも強い意志を持ち続ける姿に私も勇気をもらえた。

また、「水マフィア」という存在にも衝撃を受けた。私が知っている不正行為といえば、お金や政治のことくらいで、水に関する不正があるとは予想もしていなかった。水は、人間が生きていくために必要不可欠なものだ。だからこそ、それを利用して自分だけが得をしようとする人がいるという現実が、信じられなかった。サンジャイが勇気を出して告発しようとする場面では、「正しいことを言うのは怖いけれど、それでも言わなければならない」という強い思いが伝わってきた。

そして、私の中で「スラム」に対するイメージも大きく変わった。読む前は、スラムと聞くと「貧しくて、暗くて、こわい場所」という印象しかなかった。だが、この本ではスラムに生きる人々の、たくさんの良さが描かれていた。困っている人がいたらすぐに助けに行く近所の人たち。学校の校長先生は、誰か一人を特別扱いせず、どんな環境の子でも皆を公平にあつかう。宗教や考え方は違っても、支え合いながら暮らしている。そこには、人と人とのあたたかいつながりがあった。「貧しい＝かわいそう、不幸」ではない。お金がなくても、水が当たり前じゃなくても、人のやさしさや思いやりがあれば、心は豊かになれる。生きていける。そう気付かせてくれた。

それから、私は自分の今の生活を見つめ直した。蛇口をひねればいつでも水が出る。お風呂にも入れるし、水の心配をせず学校にも通える。それが「当たり前」だと思っていたけれど本当は当たり前じゃ

ない。これまでにたくさんの人の苦労や努力があったからこそ、安心して暮らせているのだ。

もし水が一日でも止まったら、私たちはきっと「不便だ」と文句を言うだろう。しかし、ミンニはそれが「日常」の中で生きている。「当たり前」が当たり前じゃない中でも、笑い、歌い、夢を持って生きている。彼女の瞳には、人間として「生きる」ことの強さと誇らしさが輝いている。

「スラムに水は流れない」。けれど、人々の思いや希望は、絶え間なく流れ続けている。ミンニの生き方を通して、私は生きる力や人とのつながりのあたたかさを学んだ。ミンニたちは、今でも私の心に「希望の水」を流してくれている。これから先、どんな困難があっても、当たり前の日常への感謝を忘れず、自分の中の水を濁らせないように生きていきたい。ミンニのように、どんな時も、自分が生きる世界を少しでも良くするためにできることを探していきたい。今流れている希望の水が、世界中の人々の中で流れるようにと願って。

☆この本の「レビュー」のコメントを紹介します。

水不足に苦しむムンバイのスラムを舞台にした物語。

主人公のミンニは、家族とともに厳しい環境の中で生きています。

水を得ることがどれほど大変か、そしてそれが生活にどれほど影響を与えるかが、リアルに描かれています。こんな現実があるなんて、全く知りませんでした。

この作品の魅力は、ミンニの成長と希望を描いている点ですね。

困難な状況でも前を向き、周囲の人々と助け合いながら進んでいく姿は、勇気を与えます。

また、インドの社会問題にも触れられており、普段意識しない世界の現実を知るきっかけになります。

文章は読みやすく、物語の展開もスムーズで、子どもから大人まで楽しめます。

さすが課題図書。隙のない作品でした。



インドのムンバイの画像

◎次回は、羽地愛美さんの読んだ本と読書感想文を紹介いたします。



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

**よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成**

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

令和7年度 宮古地区小・中学校

読書感想文・感想画コンクール

読書感想文で2名が入賞しました！

前は、奥平絢音さんの読んだ本と読書感想文を紹介しました。今回は、羽地愛美さんの読んだ本と読書感想文を紹介します。

「わたしは食べるのが下手」天川栄人 作 小峰書店



わたしは食べるのが下手

会食恐怖症と摂食障害。ふたりの少女がたどり着いた正しい“食”との向き合い方とは。わたしたちが望む給食って、どんなだろう？

【みどころ】

食にまつわる悩みを抱えたふたりの中学生が、背中を押してくれる先生や、様々な環境の友だちとのかかわりを通して、少しずつ悩みと向き合っていく様子が描かれています。食べることの大切さを教えてくれる物語です。

小さな行動で世界は変わる

下地中学校2年 羽地 愛美

図書館に並べられた本の中で、ひときわ目を引く題名の本があった。『わたしは食べるのが下手』。「食べる」という行為について悩んだことがなかった私は、その言葉の組み合わせにひかれて、思わずその本を手にとった。そこには「食べることが苦手」な中学生の物語があった。今まで感じたことのなかった気持ちを一つ一つ確かめるように、私はページをめくった。

この物語の主人公・鳴橋中学校一年生の葵は小食で食事をするのがあまり得意ではない。お腹がいっ

ぱいになると体が重くなり、気分が悪くなってしまう。授業中にお腹が痛くなっても、保健室に行く勇気がでない。そんな葵が、新任の栄養士である橋川先生や、同じく食に悩みを抱える咲子と出会い、給食改革に挑戦していく姿が描かれている。この作品の魅力は、葵が人との関わりの中で変わっていくところだと思う。葵は、宗教上の理由で食べられないものが多いイスラム教徒のラマワティや、給食が大好きな浩平と出会う。ラマワティは食べることに制限が多く、浩平は何でもおいしそうに食べる。正反対の二人との関わりを通して、葵は「食べ

方や感じ方は人によって違う」という当たり前のようで難しい事実気づいていく。その姿に私は心を打たれた。自分と違う立場の人を理解しようとする葵の姿勢が、すがすがしく感じられた。

葵と咲子が給食改革に挑む場面も印象的だ。二人は「もっとみんなが楽しく食べられる給食」を目指して、自分たちで新しい献立を考え、学校に提案する。しかし、その案は簡単には採用されなかった。それでも二人はあきらめず、橋川先生の力

を借りながら、少しずつ改革を進めていく。その粘り強さに私は驚かされた。結果がすぐに出なくても、思いを行動に変えて続けることの大切さを感じた。私自身、うまくいかないとすぐに気持ちが冷めてしまうことがある。だが、葵たちのように「どうせ無理」とあきらめず、努力を重ねるという過程が大事なのだと考えるようになった。

葵の姿から、私自身を振り返った。私は、自分の意見をはっきりと人前で伝えることが苦手だ。間違っていたらどうしよう、と考えてしまい、つい黙ってしまうことがある。

※64号②に続く……

令和7年度 宮古地区小・中学校

読書感想文・感想画コンクール

読書感想文で2名が入賞しました！

「読書感想文」の続きです。

でも、葵のように勇気を出して自分の思いを言葉にし、行動に移すことができたなら、きっと世界の見え方も変わるのだと思う。

葵は、苦手なことから逃げず、自分の手で状況を変えていった。その一歩は小さくても、確かに周囲の状況を動かしていた。私もそんなふうに、自分の行動で誰かに勇気を与えられる人になりたい。私も日常の中で、自分の気持ちを言葉にできずに後悔したことがある。友達に本音を伝えられずにすれ違ってしまったり、意見を求められたときに黙ってしまったり。そんなときに、心では「何か言えたら変わっていたのかもしれない」と感じてきた。葵のように、うまく言えなくても、勇気を出して一歩を踏み出してみることが大切なのだと、今は思う。



『わたしは食べるのが下手』は、「食べること」だけでなく、「自分を見つめ直すこと」や「自分とは違う他者と向き合うこと」を描いた物語だ。食べることは、単なる栄養補給ではなく、人とつながる時間でもある。葵が仲間と一緒に給食改革に挑んだように、何かを「共有すること」には、人を前向きにする力があるのだと感じた。私も、家族やクラスメイトとの食事の時間を、ただの習慣ではなく「つながる時間」として大切にしていきたい。そして、葵の変化を通して、行動を起こすこと、それを続けること、そして人とのつながりの大切さを学んだ。考えているだけでは何も変わらない。けれど、一歩を踏み出せば、たとえ結果がすぐに出なくても、何かが必ず動き出す。

これからの自分の生活の中でも、迷いや不安に出会ったときには、葵の姿を思い出したい。思いを言葉にし、行動に変える。その積み重ねが、自分自身を成長させ、周囲を少しずつ変えていくのだと思う。

すぐに結果が見えなくても、踏み出した足跡は確かに残るはずだ。葵のように、勇気を出して前に進める人でありたいと思う。



☆この本について「図書館関係者」からのコメントを紹介します。

「わたしたちが望む給食」を考える過程が丁寧に描かれていました。

他者になかなか理解されない悲しみや苦しみをもつのは自分だけだと10代は思いがちですが、そうではないことに気づけたのがよかったです。

食べることに様々なむずかしさを感じる生徒の声だけでなく、給食がセーフティネットとなる生徒や給食を楽しみにしている生徒の声もちゃんと書かれていて、「無視されてもいい声はないこと」を生徒には読んで感じてほしいです。



◎読書つながりで、先日1年生と2年生の「ビブリオバトル」の授業を参観しました。「ビブリオバトル」について、Wikipedia掲載内容から引用します。

ビブリオバトル(Bibliobattle)とは、2007年に京都大学から広まった読書会のこと。

「ビブリオ(書籍)」+「バトル(戦い)」の名のとおり、参加者はそれぞれ自分が推薦する本を公式ルールのもとにプレゼンテーション形式で紹介し、参加者に「もっとも読みたくなった本」となるように競い合う方式を特徴とする。

授業を参観して、発表者は「チャンプ本」を目指し懸命に自分の思いや考えを伝えていたことが印象に残っています。そんな発表者の熱意に呼応し、聴衆も真剣な態度で参加していましたね。読書は「言語能力」を育成します(読後の履歴を残すことも大事ですよ)。

さて、「次は、どの本を読む？」





となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェーブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

12月11日(木) 学校朝会

伝達表彰式



12/11(木)の学校朝会では、「伝達表彰式」
を行いました。表彰順に紹介します。

※敬称略

1 実用英語検定

【準2級】岩瀬 夕由(2年)

永井 隆誠(3年)

【4級】奥平 絢音(2年)

島尻 凜花(2年)

【5級】長間 結愛(2年)

上地 詠翔(2年)

2 日本漢字能力検定

【準2級】羽地 愛美(2年)

盛島 小百合(2年)

島尻 凜花(2年)

【3級】砂川 翔之介(3年)

米田 奏音(3年)

波平 真成(3年)

前泊 心和(2年)

3 実用数学検定

【3級】川満 勇起仁(3年)

砂川 愛虎(3年)

日比野 貫太(3年)

米田 奏音(3年)

4 第73回全琉小中高図画作文書道コンクール

書道の部【佳作】

國吉 結莉愛(3年)

上地 樹奈(1年)

仲地 愛良(1年)

丸田 青葉(1年)



5 宮古新報文芸

俳句の部【佳作】



仲地 愛良(1年)

羽地 愛美(2年)

川満 鈴乃(2年)

竹下 璃子(2年)

洲鎌 天太(2年)

6 令和7年度 全国暴力追放運動用統一標語

【佳作】川満 鈴乃(2年)

7 中学生税の作文

【沖縄県納税貯蓄組合連合会 優秀賞】

根間 萌瑛(3年)

8 第43回全宮古読書感想文感想画コンクール

読書感想文 課題図書部

【優秀賞】奥平 絢音(2年)

【佳作】羽地 愛美(2年)

9 第35回宮古テレビ杯全宮古

中学校軟式野球選手権大会

【準優勝】合同チーム「宮古」



10 第49回宮古地区秋季中学生

バレーボール大会

女子部【準優勝】下地中学校



今回の「伝達表彰式」で紹介された皆さんの努力は、
学校全体の誇りです。おめでとうございます。

そして先日の「強歩大会」で見られた、一人一人の
頑張りも素晴らしいものでした。仲間と励まし合い、
自分の限界に挑み、力を出し切った体験は、これからの
挑戦にきっと生かされるはずです。

今回の伝達表彰式で表彰された人も、そうでない人
も、努力の価値に順位はつけられません。下中健児の
皆さん、「図南鵬翼の志」で夢や目標に向かい、共に
一歩ずつ歩いていきましょう。

12月7日(日)

第24回クイチャーフェスティバルに
「下地クイチャー保存会」出演

12/7(日)にJTAドームを会場に開催された「第24回クイチャーフェスティバル」に、我々が「下地クイチャー保存会」も出演しました。

そのメンバーに中学生も参加していましたので、紹介いたします。

「下地クイチャー保存会」参加中学生(9名)

[1年(1名)]

上地 樹奈さん

[2年(8名)]

池間 紀華さん

平良 匠さん

奥平 絢音さん

池城 球斗さん

上地 詠翔さん

仲里 心菜さん

洲鎌 天太さん

松川 藍丸さん



◎「下地クイチャー保存会」は、地域の伝統文化を継承し、文化の向上と世代間の交流の場を目的にして取り組んでいるそうです。

●今年の9月に実施した下地中学校の運動会では、「下地原ぬクイチャー」披露とはなりませんでしたが(下の画像)。



加した9名が、その時の中心メンバーとしての活躍してくれることに期待をしていますよ)。

以前話題に出していた「2025年『今年の漢字』」の発表が12日、京都の清水寺で行われました。

ここからは「Yahoo!ニュース」掲載記事を引用します。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/840d910a3f2d146dcc5b54413103e5f3f918206a>

今年1年の世相を表す「今年の漢字」が12日午後、京都市の清水寺で発表され、「熊」に決まりました。

「今年の漢字」は、はがきやインターネットなどで応募が集められ、2025年は「熊」が1位となったということです。

2025年、全国各地でクマによる被害・目撃情報が相次いでいて、近畿でもけが人が出ており、注意が呼び掛けられています。2025年は、初めて「熊」が第1位となりました。

全国各地で「熊」の被害が相次ぎ、市街地にも「熊」が出没するなど、生活や経済活動にも深刻な影響を及ぼしました。

「熊」の出没や被害を受けて、人と自然との共存について考えるきっかけになりました。

2位:「米」(23,166票)

3位:「高」(18,300票)

4位:「脈」(6,418票)

5位:「万」(5,656票)

熊
2025読み
ユウ/くま

選ばれた理由

「熊」による被害と対策
「熊」出没による生活への不安
「熊」猫(パンダ)が中国に返還

出典: 今年の漢字(2025年12月制作)

Yahoo!ニュース
オリジナル

☆「熊」は、我々の身近に生息していないので、共感しづらいとは思いますが、熊猫(パンダ)も含めた選出になったようです。2位の「米」、3位の「高」については、どうでしょうか。各家庭でも一家団らの時間を利用して、「今年の漢字」を話し合ったり、「2025年」を振り返ったりしてみてもいいですね。

今年の漢字は「熊」

二〇二五年



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

12月16日(火)・17日(水)

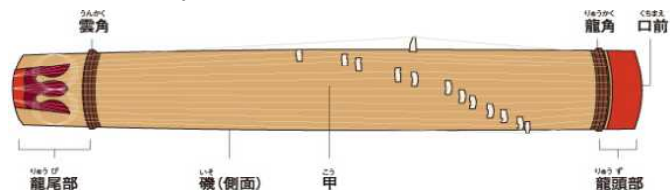
音楽の授業で外部講師を招聘

箏(こと)の演奏体験

12/16(火)・17(水) 午前、音楽の授業で外部講師(大里 まきさん)を招聘しての「箏の演奏体験」をしました。各学級2時間という短い時間でしたが、美しく優しい箏の音色が校内に響き渡っていました。



箏と琴(どちらも「こと」と読みますが、違う楽器だそうです)の違いについて、箏には「柱(じ)」と呼ばれる可動式の支柱があるのに対し、琴には柱がなく、弦を押さえる場所で音程を調整する点だということです。



■一般的な十三絃の箏の場合、奏者から一番離れている糸から順に「巻・武・参・四・五・六・七・八・九・十・斗・為・巾」と呼び、平調子の場合下図のような音階になるように調弦されます。

【平調子】基音(巻の糸)D=レ=巻越の場合



※曲によって1オクターブ低く調弦する場合があります。



角爪
(生田流)



丸爪
(山田流)

また、箏の演奏に用いる爪は、流派によって異なるそうで、今回は生田流の角爪を用いていました(演奏の際には、箏に対して斜めに座ることを教えていました)。

2時間の学習では、「さくらさくら」の演奏に挑戦していました。箏はペアで交替しながらの学習だったので、苦勞したと思いますが、楽しそうに演奏体験をしていました。

最後に、「箏の体験学習『ふり返り(1年生)』」を紹介します。まずは1年A組。

○最初はわからないことが多かったけど、だんだんわかってきてひけるようになって楽しかったです。

【丸田青葉】

○箏は簡単? くらいの難易度だったけど、音がきれいだったから、すきになった。【髙原志尚】

○小さい頃に少しだけさわって、少しできたけど、やっぱりまだむずかしかった。でも楽しかったからまた習いたいなあ~と思った。またやってみたい!

【仲間ちなみ】

○動きのくり返しが多くて、思ったりよりは簡単に演奏できた。【砂川一輝】

○最初はけっこうむずかしそうだったけど、やってみたら意外と簡単でした。また箏の授業をやりたいと思いました。【仲里優花】

○指をたくさん動かすのがとても楽しかったです。指の置く位置とかがむずかしい分、ひけるようになるとすごくうれしかったです。【津波璃音】

○初めて箏をやってみて、楽しかったところは、斗(と)、為(い)、巾(きん)と読むことが分かった。

【江川蒼】

○最初で最後だったけど、少しくまいて良かったです! まだやりたかったです。先生がめっちゃうまかった。【根間莉々香】

○箏は三線より簡単で、はじめてなのにけっこうひけたからうれしかったです。またひきたい!

【上地樹奈】

12月16日(火)・17日(水)

音楽の授業で外部講師を招聘

箏(こと)の演奏体験

「箏の体験学習『ふり返り(1年生)』」続いては1年B組です。

○箏の先生がピアノの先生だと知ってびっくりしたし、箏はひくのに加減がむずかしく、強くひき過ぎるとひどい音になるし、弱くひき過ぎると音が出なかったりするの、その加減がむずかしかったです。また箏をひく時には、加減に気をつけてひいてみたいです。【村吉にこり】

○最後の音のところで手こずっていましたが、ちょっとずつできるようになっていったので、うれしかったです。【浜比嘉美織】

○「さくらさくら」のA・Bパートをひくことができ、「ス」は引いてひくとか「ヲ」は左側を押すなど、ひく時のコツなどを教えてもらったので、楽しかった。【西脇雄太郎】

○今までテレビでしか見たことのない楽器に触れることができました。姿勢や指使い、「さくらさくら」の演奏を習って、弾くことができたので良かったです。押して弾くのがとても難しかったです。もっとやってみたいです。【仲地愛良】

○「さくらさくら」を先生に教えてもらいながら、まーまーできたので良かったです。【友利新太郎】

○箏を初めて触ったしちょっと難しかったけど楽しかった。最後の1がおもしろかった。【高原陸永】

○初めて箏をやって、簡単なのところもあったけど、難しかったです。また体験する機会があれば、やってみたいです。【砂川琉空】

○初めて箏をひいてむずかしくてできないかと思っていたけど、この2日間でちょっとだけひけるようになりました。楽しかったです。【砂川愛空】

○最初は全然できなかったけど、「七七八(ひひは)」とかはできるようになったので、また箏の授業をしたいと思いました。【川平玲愛】

○最初はすごくむずかしかったけど、がんばってひけて上手くできたから、良かった。箏を見つけたら、やってみたい。【垣花怜那】

○三線よりも簡単で楽しかった。「さくらさくら」を箏でひけたのがとてもうれしかったです。「ス」がこする、「ヲ」がおす。また機会があればひきたいです。【伊敷怜音】



☆2時間の体験でしたが、箏の基本操作を理解し、音階練習と「さくらさくら」のメロディを弾けるようになって良かったですね。「ふり返り」の文面からもそれがよく分かりました。今回、箏の講師で来校していただいた大里まきさん、2日間ありがとうございました！

「花いっぱいプロジェクト」

ブーゲンビレアと菊の花が見頃

みだしのとおり、「花いっぱいプロジェクト」を展開する中で、今はピンクに色づいたブーゲンビレアの花(図書館周辺通路)と、黄色くかわいらしい菊の花(正門周辺)が見頃を迎えております。



また、花園には真っ赤なサルビアの花(保健室前花園)が芽吹いてきております。

さて、明後日21日(日)は、「下地中学校『オープンスクール』」を行います。来校の際には、今回紹介した花々の鑑賞もしていただくと嬉しいです。

☆12/18(木)夕方、「イルミネーション点灯式」を行いました。設置場所は、運動場電柱付近です(3年生男子生徒が設置いたしました)。こちらも楽しみください。



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

12月21日(日) 生徒自作の弁当を持参

オープンスクール となんフェスティバル

12/21(日)は、生徒各自の弁当づくりをするため、時差登校での1日となりました。午前中は、「オープンスクール」昼食後の午後は「となんフェスティバル」を開催しました。ねらいと方針は、次の通りです。

【ねらい】

- (1) 地域に開かれた学校として、本校の教育実践について理解を深める機会とする。
- (2) 生徒の主体性・協働性・自己調整力などの資質・能力を育成する機会とする。

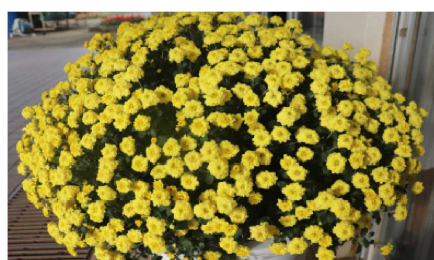
1日のスケジュールです。

令和7年度 下地中学校オープンスクール			
時間・内容をご確認下さい			
時間	内容	場 所	
9時40分 から 11時30分	【1学年】福祉体験発表	パソコン室	各学年 各教科 生徒会
	【2学年】職場体験発表	体育館	
	【3学年】学活・総合的な学習の時間	3年A組	
	美術・技術の展示	技術室前廊下	
	花いっぱいプロジェクト	中庭	
11時30分 から 12時30分	生徒会イルミネーション	式台前ガジュマル	生徒会 レク
	弁当タイム・休憩	各教室	
	「となんフェスティバル」	体育館	
12時30分 から 13時30分			
14時頃	残りの会下校	体育館で明日以降の日程の連絡	



オープンスクール楽しんで下さい

こちらは、となんフェスティバルのポスターです。



12月21日(日) 12時30分 体育館

となんフェスティバル

下地中生徒の企画でフェスティバルを開催します

クリスマスビンゴ大会、下地検定〇×クイズでは豪華商品(校長先生プレゼンツ)を準備することができました!また、コントやダンス、三線の披露など楽しめる出し物が盛りだくさんです。

生徒自身でフェスティバルを盛り上げていきましょう♡



プログラム

1 主催者代表あいさつ

浜比嘉優実

2 幕開けの三線

安良城琉杏 津波璃音

上地樹奈 堀花伶那

村吉にこり

3 下地検定〇×クイズ

池田優盛 他

4 ダンスYMCA他

永井隆誠 他

5 クリスマスビンゴ

川満勇起人 日比野貴太

5 生徒会長あいさつ

永井隆誠

下地のクイチャー

【下地中】

となんフェスティバル実行委員会

オープンスクールの様子。こちらは1年生。



こちらは2年生。



オープンスクール となんフェスティバル

オープンスクールの様子。こちらは3年生。



お弁当タイム。3年生。



お弁当タイム。2年生。



お弁当タイム。1年生。



となんフェスティバルの様子。企画・運営を頑張った実行委員の皆さん。



幕開けの三線演奏。「豊年の歌」「なりやまあやぐ」



○×クイズ「下地中検定」やビンゴゲーム、3年生のダンスで楽しみました。



締めくくりは「下地原のクイチャー」



☆生徒会長の永井隆誠さんは、となんフェスティバルの挨拶で、「今日のパーティーは楽しかったですか？また来年もこのようなイベントをしたいですね。」と話していました。手製の弁当づくりからの1日でしたが、いかがでしたか？次回は、今回の振り返りをもとに日程や内容を工夫して開催できるといいですね。
◎保護者の皆さまもご多忙な折、ご参加いただき、大変ありがとうございました。



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

11日間の冬休みが終わり……

3学期始業式

新年、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

年末年始を挟んだ11日間の「冬休み」が終わりましたね(過ぎてみれば、あっという間でしたね……)。

冬休み期間中に行われた県大会に出場した野球部は、南星中に0-6の敗戦。地区大会に出場したサッカー部は、ライバルの平良・北に負け惜しくも3位に終わりました。部活動以外の時間は、イベントに出かけたり、家族でのんびり過ごしたりと、充実した冬休みを過ごしたことでしょう(3年生は、受験対策ばかりの人もいたことでしょう)。「倒福のイラスト」に疑問を持つ1年生もいると思うので、2・3年生が説明しておいてくださいね。

さて、本題の「3学期始業式」に戻りますが、まず次のメンバーへの役員任命を行いました。



次は、各学年代表による「3学期の決意」が述べられました。概要を紹介します。

1年代表(【1A】上地慶悟):冬休みは親戚と過したり初詣に行ったりしてのんびり過ごすことができた。中学校にも慣れて、中学生らしく成長できていると思う。3学期は学年の集大成。先輩となる準備ができるようにしたい。生活でのメリハリをつけたり、冷やかしを無くせるようにしたい。

2年代表(【2B】下地莉依菜):年末年始は部活動に励んだ。学級の課題である家庭学習全員提出を目指したい。そのために授業態度も改善できるようにしたい。学習面・生活面、各行事にも高い意識をもって臨めるようにしたい。

3年代表(【3A】永井隆誠):3学期は中学校最後の学期。冬休みは受験に向けて勉強に励んだ。クラスは学習にも前向きに取り組む姿勢が見られているので、ラストスパートが図られるようにしたい。また、憧れられる先輩となるような行動と一言に気をつけたい。

	1年A組	1年B組	2年A組	2年B組	3年A組
級長	上地 慶悟	仲地 愛良	饒平名清志郎	下地 莉依菜	永井 隆誠
副級長	根間 莉々香	伊敷 怜音	奥平 絢音	島尻 凜花	友利 謙心
書記	丸田 青葉	仲間 颯祐	池城 球斗	米村 喜月	友利 海陸
出席係	上原 叶夢	片山 来弥	長間 結愛	仲里 心菜	砂川 翔之介

【校長式辞から引用します】今年の干支(えと)は何ですか?「馬(午)」ですね。馬は、「俊敏さ、勇気、行動力の象徴」とされているそうです。新しいことや諦めかけていたことにチャレンジして、良い結果



3学期は締めくくりの学期です。各学級・学年の成果を更に伸ばし、課題は改善策を講じて克服できるよう、役員を中心に盛り上げていきましょう。



につながる1年にできるといいですね。

代表が述べた「3学期の決意」が達成できるよう、先生方も応援しますので、共に頑張っていきましょう!

3学期始業式に引き続き……

生徒会役員辞令交付式 及び新旧役員引継ぎ式

3学期始業式に続いて、まず「生徒会役員辞令交付式」を行いました。新生徒会役員は、次のみなさんです。

	役員名	名前(クラス)
1	生徒会長	友利 伸之介 (2B)
2	副会長(男)	下地 瑛太 (2B)
3	副会長(女)	奥平 絢音 (2A)
4	企画委員	前泊 心和 (2A)
5	企画委員	津波 璃音 (1A)
6	企画委員	仲地 愛良 (1B)
7	書記	松川 藍丸 (2B)
8	会計	丸田 青葉 (1A)



次に、「新旧役員引継ぎ式」を行いました。ここでは、旧役員の功労を称える場ですので、旧役員で頑張ってくれた3年生の永井隆誠さん(生徒会長)、池田優盛さん(副会長)、浜比嘉優実さん(副会長)、川満勇起仁さん(書記)に対して行いました(旧役員には伸之介さん、絢音さん、瑛太さん、藍丸さんいますが、今回は新役員としての参加でした)。

「旧役員へ贈ることば」「旧役員代表による離任のことば」「新役員への激励のことば」「新役員代表のことば」では、このようなやりとりがありました。

「旧役員へ贈ることば」(奥平絢音)

学校生活や各行事が楽しめるように頑張ってくれた。責任感・行動力を学ぶことができた。先輩が築き上げてきた伝統を守りたい。高校でも生徒会で学んだことを生かして頑張してほしい。

「旧役員代表による離任のことば」(永井隆誠)

1年間やってみて、後悔が大きい。新役員には見習ってほしい点、そうでない点もある。もっと時間があれば、しっかり考えていけば、変化を恐れていた部分もあった。新役員には後悔しないよう、新たなチャレンジに期待する。

「新役員への激励のことば」(池田優盛)

新役員は、これから大変なことも、迷うこともあると思う。一人で抱え込まず、仲間と一緒に頑張っていってほしい。

「新役員代表のことば」(友利伸之介)

先輩からバトンを引き継いだ。団結力・ハキハキと発表する姿を見習いたい。企画委員時代で学んだことを会長として生かしていきたい。会員の力も必要なので全校生徒で取り組んでいこう。下地中の良さを更に伸ばし、笑顔あふれる学校にしていこう。



司会は、与那覇魁皇さん(2A)と嵩原志尚さん(1A)が務めました。ありがとうございました。

【お知らせ】

☆「1月の生活目標」を確認しましょう。

「真剣に学習に取り組もう」

- ・学習用具を完備しよう
- ・学習方法の検討、改善を行おう
- ・学習用具を大切に扱ったり、置きっぱなしにしたりしない



☆3学期は締めくくりの学期です。目標を立てて見通しをもち、充実した日々を過ごしていきましょう！